

第3回 砂川市小中一貫教育推進委員会 会議記録

○日 時 令和4年1月28日(金) 18:00～19:16 (所要時間=76分)

○会 場 砂川市役所 2階 大会議室

○出席者

【委員】 15名

【事務局】 7名 教育次長、指導参事
学務課：課長、副審議監、課長補佐、総務係長、学校教育係長

○傍聴者 3名 (男性3名、女性0名)

○議事記録

1. 開 会

2. 挨拶 小中一貫教育推進委員会会長

3. 協議事項

・砂川市義務教育学校基本構想（素案）について

事務局 I 砂川市義務教育学校の教育
1 小中一貫教育のねらい ～ 3 小中一貫教育の具体的な取組及び砂川市小中一貫教育全体構想図について事務局より説明。

副会長 1 小中一貫教育のねらい ～ 3 小中一貫教育の具体的な取組及び砂川市小中一貫教育全体構想図について、質問、意見等ありますか。無いようでしたら、次の4「学校概要」についてお願いします。

事務局 4 学校概要について事務局より説明。

委員 (6) 教育課程編成の基本的な考え方の部分で、学年の区切りの表記として、児童期（幼児期）とあるが幼稚園児をイメージさせるので、前期という表現の方がいいと思います。次のステージが児童期（後期）という表記なので修正についてご検討いただければと思います。

事務局 ただいまご意見のありました表記の仕方について、前回の推進委員会の中ではこの形で確認させていただきましたが、分かりやすい表記の仕方ということが定説になりますので、事務局のほうで検討させていただき皆様にお示ししたいと考えております。

副会長 その他にありますか。無いようであれば、I「砂川市義務教育学校の教育」について終わります。

会長 資料の7～8ページにかけて「建設の基本方針」がございますので、まずそこについて一括して説明をお願いいたします

事務局 II 義務教育学校の整備方針

1 建設の基本方針について事務局より説明。

会長 「建設の基本方針」について説明がありましたが、これに関わって資料11～13ページの施設設備についてが、このコンセプトをもとにしたものになると思いますので、後から併せてご意見・ご質問を頂いてもよろしいですか。

先に資料8～10ページの「学校規模」について説明をお願いいたします。

事務局 2 学校規模について事務局より説明。

会長 学校規模については、定められた基準で算定しているということですが、何かご質問はございますか。

それでは、資料11～13ページの施設設備になりますが、先ほどの基本方針の内容を踏まえて説明を聞いていただきたいと思います。

事務局 3 施設設備について事務局より説明。

会長 今説明がありました「建設の基本方針」と、「施設設備」を併せてご意見・ご質問を承りたいと思います。

委員 2点ほどお願いします。1点目は要望で、資料8ページ(6)「学校施設の機能向上を目指す施設整備」の1つ目として「維持管理のしやすい素材や形状」とありますが、このことについては、本当にそのように進めてほしいと思います。今までいくつかの学校を回ってきましたが、経験上かつこいい学校は壊れやすいと思います。普通に四角っぽい形の学校が一番いいと思います。

もう1点は質問ですが、学童保育についてで、これは今回どのような形になるのでしょうか。校舎内に配置するのであれば、教室等とは別に整備する必要がありますし、玄関なども分けた方がいいと思いますので、その辺について教えてください。

事務局 1点目の件につきましては、事務局もその通りだと思っておりますので、その方向で進めていきたいと思っております。

学童保育については、現在、関係部署と協議している最中です。この素案については、現時点で事務局でも若干調整をさせていただいている部分もありますので、全てこのとおりではないと考えております。いずれにしても最終的には基本構想の原案につきましては、パブリックコメントを経て教育委員会会議で決定されますが、それまでにはどのような形で学童保育を盛り込むのか、盛り込まないのかということを含めて調整させていただきたいと思っております。

委員 教員の動線関係について要望を申し上げます。教員の動線については、授業に向かう、授業を終え職員室に戻るなど様々な動線がありますが、教室に留まり連

続いて授業を受け持つなど、徐々に自分にとって一番いい動線を取るという傾向が見受けられます。そのことによって、みんなが集まるところになかなか足が向かずにコミュニケーションが取られず、そのことが原因で生徒指導上問題になるということを我々は経験値としてもっています。

教員は、いろいろな指導方法を持っていますので、教員同士が分断されないような施設整備の考え方を示していただくと、新しい学校は、そのようなコンセプトでやるということが伝わってくると思います。

事務局　　今ほどの委員からのご意見について、私どもの解釈としましては、教員の方がいろいろな連携を図って授業の準備がしやすい環境を整えるための施設整備ということで受け止めたのですが、そのような解釈でよろしかったでしょうか。もしそうであれば、例えば今回の整備にあたって授業準備室や、第2職員室などの必要性について基本設計の中で出てくると思いますが、それらも含めて教員の皆様が、しっかりと連携が図れる、また動線などについても配慮した形をこれから考えていきたいと思っています。

会長　　只今の事務局の説明内容でよろしかったでしょうか。

委員　　私の言葉が足りなかったので細かく言いますが、ある管内の高校でバッテリータイプの校舎が建築され、普通科・理数科の棟に分かれて、そこで完結するような動線を求めた結果、大事な教員間のコミュニケーションを取ることが難しくなったという残念な事例があり、そこをベースに私が意見を申し上げたところであります。

会長　　前期課程・後期課程など、その辺が一体となった義務教育学校で、職員間の交流をもとに教育活動を進めていくので、そこが分断しないような校舎の形のイメージということですが、事務局から何かありますか。

事務局　　実際、具体的な形となりますと基本設計という部分に入ってくるかと思っています。基本設計の段階では学校の先生方のご意見等を確認させていただきながら進めさせていただきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

会長　　よろしいですか。また、このコンセプトをもとに実際の図面などを見ながら職員の意見を聞いたうえで随時修正しながら良い校舎を作らなければならないということで押さえてたいと思います。その他何かご意見・ご質問ございますか。

委員　　施設設備の中で通級指導教室等について記載がなかったと思いますが、そちらについても今後入ってくると押さえてよろしいでしょうか。

事務局　　資料12ページの多目的教室等の中で、通級指導教室と適応指導教室の部分についても触れさせていただいておりますので、こちらのほうでお読み取りいただければと思います。

会長　　通級指導教室については、今の小学生だけでなく中学生も対象としての通級指導教室、適応指導教室の開設に向けての検討もありますので、それぞれにまた玄関ができるのかというようなことも今後の設計等を見ながら検討していく材料の1つになるかと思っています。他にご質問ございますか。

- 委員 施設設備の中にエアコンの関係の記述が無いのですが、全部の教室に付くという押さえでいいのか、それともまだ検討中なのか教えていただけたらと思います。
- 会長 職員室も校長室も付くのかということも含めてお願いします。
- 事務局 具体的にこちらの施設設備ではないのですが、「建設の基本方針」の8ページ(6)「学校施設の機能向上を目指す施設整備」の最後のところで、「空調設備や日照・採光・通風等に配慮する」という部分の方針としてお示しさせていただいておりますので、お読み取りいただければと思います。
- 会長 よろしいでしょうか。(3)に「教職員の働きやすい施設整備」とありますので、職員室・校長室も併せてお願いします。
- 委員 今後の設計の段階で見えてくるとは思いますが、義務教育学校は、スクールバスの通学を前提とした学校になると思いますので、児童生徒玄関でのスクールバスへの接続の良いような施設をお願いできればと思います。
- 会長 要望ということで受けておきたいと思えます。他にご意見・ご質問ございますか。それでは、時間がだいぶ経ってまいりましたので先に進みたいと思えます。14ページの4「通学支援」～6「幼保、高校との連携」に関わって説明をお願いします。
- 事務局 4 通学支援 ～ 6 幼保、高校との連携について事務局より説明。
- 会長 4「通学支援」～6「幼保、高校との連携」まで説明ありましたが、ご質問ありますか。よろしいですか。
では、残りの7「建設形態」～9「建設に係るスケジュール」まで説明をお願いします。
- 事務局 7 建設形態 ～ 9 建設に係るスケジュールについて事務局より説明。
- 会長 一括して質問・意見を受け付けたいと思えますがいかがでしょうか。
- 委員 建設形態の中で2通りの建設形態を想定しているとのことですが、どちらの建設形態を取りましても、現在もしくは工事の際に砂川中学校で学習している生徒たちにとってはそれなりの騒音やグラウンドの狭さが予測されます。砂川中学校に通う生徒たちの教育環境についてはしっかり確保していただきたいという要望であります。
- 会長 そのような要望がございましたのでお願いしたいと思えます。他、特に建設形態に関わって何かご意見・ご質問ございますか。
砂川中学校の今の校舎を利用して2つの建物をつなぐイメージ、それから全てを壊して1つの建物にするイメージ、この2案のどちらかに決めていくことになり、お金がかかる問題だと思えますが、先ほどの建設のコンセプトの中で意見が出されておりましたが、前期課程・後期課程の職員が一体となって教育活動を展開するために適した校舎を作ることが必要だと考えますので、何かこれに関わるご意見をお持ちの方はいらっしゃいますか。

委員 想定されることとしては、現砂川中学校を改修することになると教育活動への配慮がかなり必要になるといいますか、工事への懸念が多い気がします。

また、先ほどから示されている今後の目指す施設の方針が改修によってクリアできるものなのか、逆に言うとクリアできるほどの改修を行うとなると困難な気がします。今後懸念されることを考えると、きちんと一体的なものを作り上げていくほうがいいと感じています

委員 具体的な費用については分かりませんが、管理運営等も含めて考えると、今の砂川中学校の校舎を使い教育活動を進めながら改修して増築することは、非常に想像しがたいものがあります。

校舎を使いながら教育活動を進めることになると、他の学校の例でもありますが、仮設校舎を建てることも考えられ、それに加えて今の校舎を改修しながら増築することがコストの削減になるのかどうか、それとも今の校舎で教育活動をしなが、例えば今のグラウンド側に新校舎を建て新校舎ができたなら今の校舎を壊し、それからグラウンドを作るという方法も考えられますが、そのような比較をしなが考えていくと単純なイメージとしては、新しく建て直したほうがいいと思います。

委員 現在の砂川中学校の校舎は平成7年に完成し使い始めています。義務教育学校が開校する頃には30年以上建つ校舎ということになります。雨漏りもありますし、暖房等の部品交換をしたくても「部品が無い」と業者に言われることもあります。この後のコスト面を考えると、新しい校舎を建てていただいたほうがすんなり使えると考えております。

会長 建設方法については、予算的な部分もありますので結論を出すのは難しいと思いますが、委員さんからは、建築中における教育活動の維持の難しさや、建築後の教育活動のしやすさなどの意見もあることについては事務局で押さえていただいて、建設の方法はどちらでいくのかについても、こういった意見を踏まえたうえで検討していただければと思いますが、事務局、そのような押さえでよろしいでしょうか。

事務局 建設形態でいろいろな意見を頂いたところでございますが、学校建設については非常に多額な経費がかかるのも現実的な問題でございまして、道内の直近で建てている自治体を見ますと、建て方もいろいろあるのかもしれませんが、60億円近くかかっているというような話もございます。

砂川の義務教育学校でいけば、人数も多いのでそれ以上になるというようなことも考えられます。このことについては、新たに建てた場合の経費の部分、あるいは今言われていた既存の部分を使ってそれを改修していく部分の経費などについては、詳しく調査・検討を進めているところでございまして、特に財源、あるいは今後の見通しについては教育委員会だけでなく財政部局等とも調整を進めているところでございますので、これについてはいろいろな意見をいただいた部分も参考にしながら、多額な経費というところでの現実的な部分もありますので、この辺についてもご理解をいただくところが出てくるかもしれないというところでお話をさせていただきました。

会長 参考意見ということでこの委員会として意見を述べたということで押さえておきたいと思います。他に、これに関わってご意見・ご質問ございますか。

委員 前回の資料を踏まえて素案が出てきたと思っていますが、前回の資料の中で、学年の区切りの記載についてはその意味や根拠を明確にすることが大切であるという記載となっていたため、もう少し学年の区切りの記載が膨らむといいと思います。

事務局 ご意見として頂戴し、事務局で検討してまいります。

委員 3回目の会議ということで今後のことも含めてのお願いですが、情報発信がどのような形で行われる見通しなのかを教えてくださいと思います。まだ具体的に決まっていないことも多々あるので、現段階で何か情報発信というような段階ではないのかもしれませんが、保護者・地域の方・職員の方からも小中統合に向けてどのような状況になるのだろうと不安を抱えている方もいると聞いていますので、今後どのような形で情報発信がされる見通しなのか、前回までの会議の中でもお話があったのかもしれないですが、改めて見通しを教えてください。

事務局 統合に向けた情報発信については、統合準備委員会なり小中一貫教育推進委員会なりでの会議の資料や記録等はホームページでも掲載させていただいております。また、保護者向けという部分においては、まだ1回しか発行していませんが、統合準備だよりを2回3回と発行していきたいと思っております。逆にお願いをしたい部分では、統合準備委員会・小中一貫教育推進委員会の記録等は市のホームページに掲載しておりますので、適宜、職員会議等で周知していただき情報を収集していただきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

委員 今日お示しいただいた素案はホームページにアップされるのでしょうか。

事務局 皆様から頂いた意見等、協議された内容を整理した後、会議の記録とともに資料についてもホームページにアップさせていただく予定となっております。

会長 他にご質問はございますか。よろしいですか。
それでは、今日の資料の協議については終わりたいと思いますが、「その他」で何かありますか。

4. その他

委員 今このように一貫教育に関わっての会議ということで校長・教頭が集まって話をしているところですが、令和5年度の中学校統合に向けて、おそらく先生方が集まって話し合い、いろいろな情報交流をされていると思います。

小学校につきましても先生方が実際に交流し合う場面が必要ではないかと思えますし、部会というような形で組織立って進めていくのが大切だと考えております。事務局も大変忙しいと思うのですが、まずは小学校だけの交流をするということを検討いただけたらと思います。

来年度、中1ギャップや、統合に向けた対応として6年生が交流会をする予定になっていますが、それ以外の学年の交流も必要だと思います。また、それ以外に簡単な学習の関係、生徒指導の関係、特別支援に関わることについても情報交流が必要だと考えておりますので、大変申し訳ないのですがそのような部会を設置していただくことを今後検討していただけたらと思っております。

会長

以前部会を構成して、今後小中一貫を進めていくという提案は事務局からもございましたので、今のご意見を踏まえながら要望という形で承っておきたいと思
います。

あと「その他」で何かお持ちの方はいらっしゃいますか。

それでは、本日予定されておりました案件については確認しましたので、以上
をもちまして第3回砂川市小中一貫教育推進委員会を終了いたします。お疲れ様
でした。

以 上